

■ 本文

※例文は学習用に作成しています。

- ① かかる人も世にいでおはするものなりけりと、あさましきまで目を驚かしたまふ。
- ② をさなき子の、ねず鳴きするにをどり来る、いとうつくし。
- ③ この世にかかる宝のあること、げにありがたしとなむ思ひける。
- ④ 夜ふけて、雨の音にふとおどろきて、あたりを見まはす。
- ⑤ かの君の御ありさま、見るにこちたく、われながらはづかし。
- ⑥ 故郷の方より吹く風に、そぞろになつかしうおぼゆ。
- ⑦ 人につかうまつるは、げにやさしきわざなりけり。
- ⑧ あるじ、客人をねんごろにもてなして、夜もすから語らふ。
- ⑨ 旅立ちの日に鳥の鳴くを、いまいましと人々言ひあへり。
- ⑩ さしたる用もなくしげく訪ね来るを、いと心づきなく思ふ。
- ⑪ 親なき身を、いとかなしと思ひて、よろづにいたはる。
- ⑫ 五月ばかりに山里の月見るこそ、すさまじけれ。
- ⑬ いかにかせむ方もなく、わりなきこと多かる世なり。
- ⑭ 下臈の身ながら歌詠むさま、いとめざましとぞ。
- ⑮ いつしか暮れぬるを、くちをしうおぼえて立ち帰る。
- ⑯ ほどなくこと果てて、人々おどろきあへり。

■ 設問 (全23問)

1. 傍線部①「あさましき」の古文での意味として最も適切なものを次から選べ。
ア いやしい イ 驚きあきれるほどだ ウ あつかましい エ みすばらしい
2. 傍線部②「うつくし」の古文での意味を答えよ。
3. 傍線部②「うつくし」について、古語の意味と現代語の意味の違いを説明せよ。
4. 傍線部③「ありがたし」の古文での意味を、漢字を当てて説明せよ。
5. 傍線部④「おどろき」の古文での意味を答えよ。
6. 傍線部④「おどろく」を含む一文を、現代語に訳せ。
7. 傍線部⑤「はづかし」の古文での意味として最も適切なものを次から選べ。
ア 恥ずかしい イ こちらが気おくれするほど立派だ ウ 照れくさい エ みつともない
8. 傍線部⑥「なつかしう」の終止形と、古文での意味を答えよ。
9. 傍線部⑦「やさしき」の古文での意味を答えよ。
10. 傍線部⑦「やさし」について、古語の意味と現代語「やさしい」の意味の違いを説明せよ。
11. 傍線部⑧「ねんごろに」の古文での意味を答えよ。
12. 傍線部⑧「ねんごろに」を含む一文を、現代語に訳せ。
13. 傍線部⑨「いまいまし」の古文での意味を答えよ。

14. 傍線部⑩「心づきなく」の終止形と、古文での意味を答えよ。
15. 傍線部⑪「かなし」の古文での意味として最も適切なものを次から選べ。
ア 悲しい イ さびしい ウ いとしい エ 心細い
16. 傍線部⑪「かなし」を含む一文を、現代語に訳せ。
17. 傍線部⑫「すさまじ」の古文での意味を答えよ。
18. 傍線部⑫「すさまじ」について、古語の意味と現代語「すさまじい」の意味の違いを説明せよ。
19. 傍線部⑬「わりなき」の終止形と、古文での意味を答えよ。
20. 傍線部⑭「めざまし」の古文での意味を答えよ。
21. 傍線部⑭「めざまし」は文脈によって良い意味にも悪い意味にもなる語である。それぞれどのような意味になるか、記述で説明せよ。
22. 傍線部⑮「くちをし」の古文での意味を答えよ。
23. 「古今異義語」とはどのような語か。本文の例を一つ挙げながら、四十字以内で記述せよ。